



2021年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年7月5日

上場会社名 株式会社バイク王&カンパニー 上場取引所 東
 コード番号 3377 URL https://www.8190.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長執行役員 (氏名)石川秋彦
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 管理部門担当 (氏名)竹内和也 (TEL)03-6803-8855
 四半期報告書提出予定日 2021年7月12日 配当支払開始予定日 2021年8月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年11月期第2四半期の業績(2020年12月1日~2021年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年11月期第2四半期	12,869	21.6	853	468.5	939	354.8	621	436.1
2020年11月期第2四半期	10,580	4.6	150	30.4	206	19.8	115	75.0
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年11月期第2四半期	44.51		-					
2020年11月期第2四半期	8.30		-					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年11月期第2四半期	8,637	5,132	59.4
2020年11月期	7,655	4,580	59.8

(参考) 自己資本 2021年11月期第2四半期 5,132百万円 2020年11月期 4,580百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年11月期	-	2.50	-	5.00	7.50
2021年11月期	-	5.50	-	-	-
2021年11月期(予想)	-	-	-	5.50	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年11月期の業績予想(2020年12月1日~2021年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,700	10.5	1,490	110.6	1,650	91.9	1,090	83.4	78.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年11月期2Q	15,315,600株	2020年11月期	15,315,600株
② 期末自己株式数	2021年11月期2Q	1,350,000株	2020年11月期	1,350,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年11月期2Q	13,965,600株	2020年11月期2Q	13,965,600株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、欧米諸国や中国経済がワクチン接種の進展で正常化へ向かいだし、輸出や設備投資の回復が鮮明化してきた一方で、個人消費はワクチン接種が進みだしてはいるものの緊急事態宣言の延長などによる下押しがみられ、全体としては依然として不透明な状況が続くものと予想されます。

当社が属するバイク業界におきましては、昨年より二輪免許取得者数が増加に転じる等の環境変化が起きており、新車、中古車の需要は高まってきております。この背景には、近年のアウトドアブームに加えて、コロナ禍による人々の行動の変化を映したバイク志向の高まりがあるものとみられています。

国内におけるバイクの保有台数は約1,053万台（前年比1.8%減）と前年を下回るものの、当社の主力仕入とする高市場価値車両である原付二種以上は約543万台（前年比1.1%増）と前年を上回っております^{*1}。また、新車販売台数は約33万台（前年比0.9%減）と前年を下回るものの、高市場価値車両は約21万台（前年比3.4%増）と前年を上回っております^{*2}。

※1. 出所：一般社団法人日本自動車工業会(2019年3月末現在)

※2. 出所：一般社団法人日本自動車工業会(2020年実績)

このような市場環境のもとで、当社は、ビジョンとして掲げる「バイクライフの生涯パートナー」の実現に向けて、従来のバイク買取専門店としての「バイクを売るならバイク王」から、バイクに係る全てのサービスを総合的に提供する「バイクのことならバイク王」と言われるブランドへ進化を目指しております。そして、一人ひとりのお客様満足度のさらなる充実とともに長期にわたって多くのお客様に支持していただける企業になること、さらに、お客様とともにより豊かなバイクライフを創り上げていく企業となることを実現したいと考えております。

当事業年度においては、従来から進めてきた複合店（買取およびリテールを展開する店舗）における仕入力および販売力の強化をさらに推進し、より一層お客様満足度を高めるとともに、経営基盤の強化に努めてまいります。

上記を踏まえ、当第2四半期累計期間における、バイクの仕入は、効果的な広告展開、人員や体制の強化、仕入れキャンペーン等の実施により、前期同様に高市場価値車両を継続して確保できました。

バイク販売のリテールにおいては、マーチャндаイジング施策として商品ラインアップの適正化、店舗の新規出店（2店舗）、移転・増床（3店舗）、接客力向上、売り場改善による既存店の販売力強化および通信販売の強化を推進いたしました。また、第1四半期にオンシーズン（3月－8月）に向けて優良な在庫を確保する取り組みが奏功し、堅調なリテール市場の需要にも支えられ、業績は好調に推移いたしました。ホールセールにおいても同様に、高市場価値車両の確保を行ったことで、業績は好調に推移いたしました。

なお、6月には店舗の移転・増床（1店舗）を実施しています。

これらの取り組みによって、販売台数は、リテールでは前年同期より増加いたしました。リテールへ商品を回したことでホールセールでは前年同期より減少して、全体としては前年同期をやや下回る結果となりました。一方、車両売上単価（一台当たりの売上高）が前年同期より大幅に上昇したため、売上高は増収となりました。加えて、平均粗利額（一台当たりの粗利額）が前年同期より大幅に上昇したため、売上総利益も増益となりました。

営業利益以降の各段階利益につきましては、ホールセール、リテールいずれも好調であったため前年同期から大幅な増益となりました。

以上の結果、売上高12,869,972千円（前年同期比21.6%増）、営業利益853,044千円（前年同期比468.5%増）、経常利益939,536千円（前年同期比354.8%増）、四半期純利益621,544千円（前年同期比436.1%増）となり、過去最高を更新いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べて911,611千円増加し、6,112,055千円となりました。これは主に、商品が492,984千円、現金及び預金が480,109千円、売掛金が33,804千円増加し、未収入金の減少等により「その他」が88,906千円減少したためであります。

(固定資産)

固定資産は、前事業年度末に比べて69,929千円増加し、2,525,061千円となりました。これは、建物及び建物附属設備の増加等により「有形固定資産」が98,093千円、繰延税金資産の増加等により「投資その他の資産」が27,920千円増加し、ソフトウェア償却費の計上等により「無形固定資産」が56,085千円減少したためであります。

(流動負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて378,223千円増加し、2,982,235千円となりました。これは主に、前受金が328,347千円、買掛金が120,465千円、未払法人税等が74,200千円増加し、未払金が35,560千円、未払消費税の減少等により「その他」が119,152千円減少したためであります。

(固定負債)

固定負債は、前事業年度末に比べて51,526千円増加し、522,297千円となりました。これは、資産除去債務が16,752千円、長期リース債務の増加等により「その他」が34,773千円増加したためであります。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べて551,790千円増加し、5,132,583千円となりました。これは主に、利益剰余金が551,716千円増加(四半期純利益621,544千円、株主配当69,828千円)したためであります。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末に比べて480,109千円増加し、2,160,930千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において、営業活動の結果、増加した資金は852,933千円(前年同期は310,556千円の増加)となりました。これは主に、税引前四半期純利益932,392千円、減価償却費199,278千円、仕入債務の増加120,465千円、前受金の増加等による「その他」の増加432,514千円により資金が増加し、たな卸資産の増加496,168千円、法人税等の支払額254,453千円、売上債権の増加75,814千円により資金が減少したためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において、投資活動の結果、減少した資金は271,341千円(前年同期は249,343千円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出147,714千円、無形固定資産の取得による支出108,694千円、敷金及び保証金の差入による支出35,224千円により資金が減少し、関係会社株式の売却による収入25,258千円により資金が増加したためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において、財務活動の結果、減少した資金は101,482千円(前年同期は54,074千円の減少)となりました。これは、配当金の支払69,473千円、リース債務の返済による支出32,008千円があったためであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年11月期の通期業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2021年3月30日に公表いたしました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、2021年6月30日付で公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年11月30日)	当第2四半期会計期間 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,680,820	2,160,930
売掛金	83,553	117,358
商品	3,179,233	3,672,218
貯蔵品	12,291	5,920
その他	252,177	163,271
貸倒引当金	△7,632	△7,642
流動資産合計	5,200,443	6,112,055
固定資産		
有形固定資産	770,817	868,911
無形固定資産	824,661	768,576
投資その他の資産		
その他	876,010	906,829
貸倒引当金	△16,357	△18,319
関係会社投資損失引当金	-	△936
投資その他の資産合計	859,653	887,573
固定資産合計	2,455,132	2,525,061
資産合計	7,655,575	8,637,117
負債の部		
流動負債		
買掛金	253,607	374,073
短期借入金	100,000	100,000
未払金	671,436	635,876
未払法人税等	289,600	363,800
前受金	591,086	919,434
賞与引当金	217,456	225,414
その他の引当金	4,173	6,106
資産除去債務	2,428	2,460
その他	474,222	355,070
流動負債合計	2,604,011	2,982,235
固定負債		
資産除去債務	212,810	229,563
その他	257,959	292,733
固定負債合計	470,770	522,297
負債合計	3,074,782	3,504,533
純資産の部		
株主資本		
資本金	590,254	590,254
資本剰余金	609,877	609,877
利益剰余金	3,736,745	4,288,462
自己株式	△356,229	△356,229
株主資本合計	4,580,648	5,132,364
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	144	218
評価・換算差額等合計	144	218
純資産合計	4,580,793	5,132,583
負債純資産合計	7,655,575	8,637,117

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年12月1日 至2020年5月31日)	当第2四半期累計期間 (自2020年12月1日 至2021年5月31日)
売上高	10,580,130	12,869,972
売上原価	5,864,849	6,937,883
売上総利益	4,715,281	5,932,088
販売費及び一般管理費	4,565,234	5,079,044
営業利益	150,046	853,044
営業外収益		
受取利息及び配当金	270	280
クレジット手数料収入	48,062	71,593
その他	11,301	16,010
営業外収益合計	59,634	87,884
営業外費用		
支払利息	1,431	1,392
為替差損	1,613	-
その他	39	-
営業外費用合計	3,084	1,392
経常利益	206,596	939,536
特別利益		
固定資産売却益	292	231
関係会社株式売却益	-	14,148
特別利益合計	292	14,379
特別損失		
固定資産売却損	89	-
固定資産除却損	655	0
減損損失	-	9,061
貸倒引当金繰入額	396	1,962
関係会社投資損失引当金繰入額	1,796	936
関係会社株式評価損	-	9,564
特別損失合計	2,938	21,524
税引前四半期純利益	203,950	932,392
法人税、住民税及び事業税	97,561	327,865
法人税等調整額	△9,551	△17,017
法人税等合計	88,009	310,847
四半期純利益	115,940	621,544

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	203,950	932,392
減価償却費	132,363	199,278
減損損失	-	9,061
貸倒引当金の増減額(△は減少)	436	1,972
賞与引当金の増減額(△は減少)	21,524	7,958
受取利息及び受取配当金	△270	△280
支払利息	1,431	1,392
為替差損益(△は益)	1,472	△987
関係会社株式売却益	-	△14,148
関係会社株式評価損	-	9,564
固定資産除却損	655	0
固定資産売却損益(△は益)	△203	△231
売上債権の増減額(△は増加)	△84,973	△75,814
たな卸資産の増減額(△は増加)	△287,500	△496,168
仕入債務の増減額(△は減少)	50,812	120,465
未払金の増減額(△は減少)	120,452	△18,435
その他	252,983	432,514
小計	413,133	1,108,533
利息及び配当金の受取額	299	248
利息の支払額	△1,417	△1,395
法人税等の支払額	△101,460	△254,453
営業活動によるキャッシュ・フロー	310,556	852,933
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△78,569	△147,714
無形固定資産の取得による支出	△146,723	△108,694
関係会社株式の取得による支出	△16,706	△10,000
関係会社株式の売却による収入	-	25,258
敷金及び保証金の差入による支出	△119	△35,224
敷金及び保証金の回収による収入	3,620	11,708
その他	△10,845	△6,674
投資活動によるキャッシュ・フロー	△249,343	△271,341
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△26,153	△32,008
配当金の支払額	△27,921	△69,473
財務活動によるキャッシュ・フロー	△54,074	△101,482
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	7,137	480,109
現金及び現金同等物の期首残高	1,305,364	1,680,820
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,312,502	2,160,930

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。